

1・2月
のカレンダー



1/1日(火)元日

- 7日(月) 預り金振替日
- 8日(火) 3学期始業日 4限給食
- 9日(水) 校内書初大会 委員会
- 14日(月) 成人の日
- 15日(火) 安全点検 全校朝会
- ひまわり会あいさつ運動
- 元気アップ週間(～1/21)
- がんばりタイム(～2/21)
- 18日(金) 須田中入学説明会
- 21日(月) 校内書初展(～2/8)
- 給食週間(～1/25)
- 22日(火) 避難訓練

1/23日(水) 委員会

- 2/5日(火) 全校朝会 NRT 学力検査(国) 預り金振替日
- 6日(水) 校内版画展(～2/21)
- NRT 学力検査(算) 委員会
- 8日(金) 学習参観日・学校評価説明会
- 11日(月) 建国記念の日
- 12日(火) ひまわり会あいさつ運動
- 15日(金) 全校縄跳び大会(昼休み) 安全点検日
- 19日(火) ヒヤシンス贈呈式(須童朝会)
- 21日(木) 全校大縄跳び大会(3限)
- 22日(金) 新1年生招待会
- 28日(木) 六年生を送る会

学校保健委員会報告

須田小っ子の健全な成長を、体力・食生活・生活習慣の3つの観点から、家庭・地域・学校で話し合う学校保健委員会が先月28日(水)、須田小学校でありました。そのポイントと、今後の見通しについて報告します。(養護教諭 中野)

堀内学校医先生 青柳学校歯科医先生
大塚学校薬剤師先生 丸山区長会長様
石崎須田分館長様 石黒育友会会長
小林育友会副会長 西村保健体育部部长
関川保健体育部副部长 石黒須田中養護教諭

体力面 子供たちの様子

- ◎体力テストでは「上体起こし」(腹筋)は男女とも県平均値を上回る(全学年)。
- ◎重点的に指導した「握力」「ソフトボール投げ」は全校的に向上。
- ▼体力面での二極化
社会体育やスポーツ少年団等、学校以外のところで身体を動かしている子供とそうでない子供



食生活

- ◎朝食は、ほとんどの子供が食べてきている。
- ◎全校の残量は2%(食材全部の重さの割合)で、適正な量で食べている。
- ▼魚や野菜、和食の献立での残量が目立つ。



生活習慣

- ◎元気アップ週間(7月と10月)では、メディア時間と就寝時間が適正な子供が増加!
- ▼早起きの子供の割合が減少!



◆ 助言 ◆

【堀内学校医先生】

- ・生活面や食事面など、個々の実態が異なるが、一日3回の食事や十分な睡眠がベースになる。生活習慣は集団指導だけでなく、個別指導も必要になる。担任や養護教諭、全校で対応する。

【青柳学校歯科医先生】

- ・う歯が小学4年生以降増加傾向にあるため、今後も歯みがき教室や学校での歯科指導の充実を図る。週末の夜歯みがきの時刻は、生活スタイルの違いもあるので、家庭の裁量に任せる。

【大塚学校薬剤師先生】

- ・昨年度行った6年生の薬物乱用、薬の適正使用についての授業を今年度も実施予定である。薬の怖さをこれからも働きかけていきたい。



ご意見ご助言を踏まえ、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。

今後の取組の方針

【継続】

- ◆学校…「グーパー体操」や「ボール投げ」等、手軽に日常的にできる運動を学校生活で継続する。家庭でも楽しみながらできるものを。

【提案】

- ◆講演会…保護者が多く参加できるPTA活動に、子供のからだ、家庭でできる体力アップについて、まずは関心をもってもらえる講演会を。

【提案】

- ◆学校…朝食の「内容の工夫や、手軽に食べられる物」をたよりで紹介していく。
- ◆家庭…おやつを食べ方やダイエットなどについて、ご飯一食分のカロリー親子で相談を。ーがあるもの!



【継続】

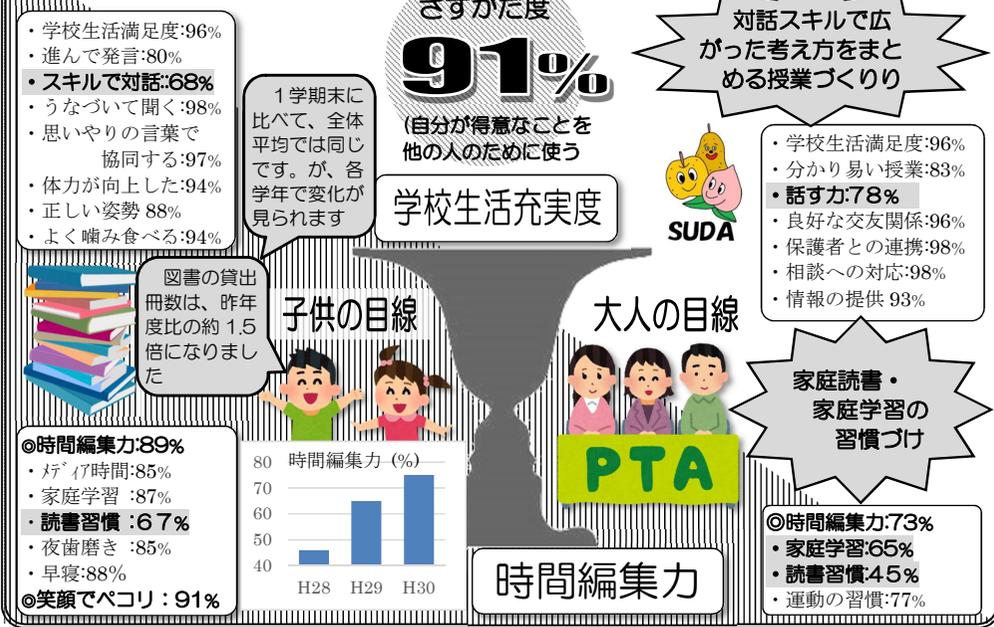
- ◆学校…夜9時の歯みがき(歯っぴー大作戦)

【提案】

- ◆家庭…ゲーム等のメディアとの付き合い方(約束)やお手伝い等、PTAで協力して取り組む。

学校評価アンケート(12月) 【速報】

12月に実施した保護者アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。今回は、同時期に行った児童アンケートも合わせた結果を、以下にまとめました。学校生活充実度と時間編集力にかかわる回答で整理してみました。児童と保護者の間の評価に大きなズレが見られるもの(網掛け部分)もあります。また、様々な点に「のびしろ」がたくさん見られます。3学期以降、焦点化して取り組んでまいります。※数字(%)は、各アンケート項目の肯定的な回答の全校の平均値です。(学校評価委員会)

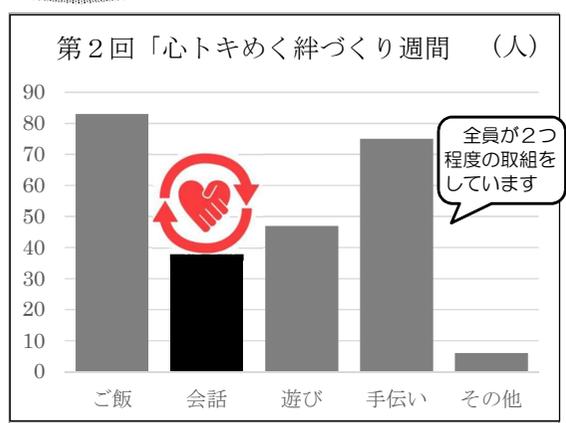


『ながら』から『絆』を!

11月26日(月)から12月2日(日)まで、小中学校が同時に取り組んだ「心トキめく絆づくり週間」にご協力いただき、ありがとうございました。

「コミュニケーション能力や自己有用感」、要は「家族でニコリして関わる瞬間創り」を目的にした取組です。小学生の結果をまとめたものが、右のグラフです。一緒に「ご飯」を食べるのに、意外に少ないのが「会話」でした。(昨年度も同じ傾向)

「会話」を面と向かった話し合いととらず、まずは、ご飯・遊び・手伝いを「しながら」することから始めてはどうでしょうか。(生活指導部)



※家族でどんな絆づくりをしましたか(複数回答可)
全校児童のアンケート結果より

1秒間で「ありがとう」は伝えられます